

平成28年度 笠岡市立白石中学校 全国学力・学習状況調査の概要と改善プラン

1 全国学力・学習状況調査（H28 4月 中学3年実施）結果の概要

- 国語A：非常に正答率が高い
- 国語B：非常に正答率が高い
- 数学A：非常に正答率が高い
- 数学B：全国平均に比べかなり正答率が高い

2 質問紙調査の結果から特徴的な3項目

- ・授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。・・・肯定率100%
- ・普段（月曜～金曜）、1日どれくらいの時間、テレビゲーム（携帯のゲーム含む）をしますか。
＝2時間未満が肯定　・・・肯定率100%
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜～金曜）1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
＝1時間以上が肯定　・・・肯定率100%

3 全国学力・学習状況調査の結果の分析

「成果」

- ・校内研修で、授業の「ねらい」を明確にし、理解の定着を図る「まとめ」を工夫していくことができている。
- ・生徒に考えさせたり、活動させたりする場を設定するように心掛け、ICTの活用を図っている。
- ・授業の「ふりかえり」を取り入れるように努力している。
- ・小中の連携をした学習指導の中で、漢字の書き取りや計算問題は、力がついてきている。
- ・各教科で基礎・基本のより一層の定着を目指し、基礎・基本の学力が定着してきている。
- ・「家庭学習のてびき」を配布し、家庭での自主的な学習は3時間程度確保できている。
- ・「小中連携スクラム表(白石っ子の身につけさせたい力)」の作成により、生活全般の達成すべき目標を明確にして小中の連携した指導ができている。

「課題」

- ・複数のテキストの関連をとらえたり、何を求められているかを深く探ったりすること、図や表が示していることをとらえたりすることに課題が見られる。
- ・文章や問いをじっくりと読み込んで内容を読み取ったり、相手の考えと自分の考えを比較したり、資料を読み取り、自分の言葉で表現したりする活動に課題が見られる。

4 具体的な改善の目標設定とその方策

- (1) 研究授業の充実・・・授業公開・研究協議を各自年1回行う。

○授業公開・研究協議(各学期)

- ・生徒に考えさせたり、活動させたりする場を設定し、資料から必要な情報を選んだり、自分の考えの根拠を示しながら説明する活動を積極的に行う。※小学校教員にも公開。

○小学校の授業公開への参加。

- (2) 家庭学習の充実・・・生徒の個々の課題にあった家庭学習ができるようにする。
- 自主学習ノートに各担任や教科担当がアドバイスをする。
 - 自主学習ノートのやり方を指導する。また模範のノートを提示し、学習効果の高い自主学習ノートを指す。
 - 「宿題一覧ボード」を職員室前に作り、生徒も教員も各教科の宿題の状況を把握できるようにした。

(3) 読書の充実

- 生徒一人一人が意欲的に読書に取り組む工夫。
 - ・生徒による読み聞かせ
 - ・お薦めの本紹介
- 朝読書を落ち着いて取り組ませ、読書量を数値化することにより、読書をする意欲を高める。
 - ・読書貯金の掲示
- 読書量や新聞を読む機会を増やすことにより、読解力を高める。
 - ・図書コーナーに新聞を置き、自由に読むコーナーの常設

5 小中連携の取組

- 小中連携会議（小中全職員）で県の学力調査の分析やベネッセの学力調査の分析、全国の学力調査の結果分析と改善策の協議と情報共有を行っている。
- 「小中連携スクラム表」の作成により、生活全般の達成すべき目標を明確にして小中の連携した指導ができています。

6 保護者・地域へ理解・協力を求めること

- 「家庭学習のてびき」をもとに家庭での励ましとバックアップをお願いしている。
- 「小中連携スクラム表(白石っ子の身につけさせたい力)」をもとに家庭でのスマホやゲームなどの使用時間、家庭学習の時間、睡眠時間など生活全般の安定をお願いしている。
- 白石踊を核とした地域の様々な行事に参加する中で、温かく見守っていただき、健全に生徒が成長している。